



▼お父さんと協力して作りました(仙南交流センターにて)



しかけ絵本作りに挑戦しました 手作り絵本教室

しかけ絵本を作ることを通じて、本の楽しさや物をつくる喜びを知ってほしいと7月28日、仙南交流センターと学友館で「手作り絵本教室」が開かれました。

飛び出す絵本とも呼ばれる「しかけ絵本」は、絵本の開閉にあわせて、登場人物や風景が立体的に動くもの。この日の教室では、大日本絵画所属の嵐田康平さんを講師にお迎えして、しかけ絵本の基本となる仕組みを、実際の作業を通じて学びました。

参加した延べ43人の親子の皆さんは、しかけ絵本の仕組みに自分のアイデアを加えたり、思い思いのイラストを描きながら、夢中になって作業に取り組んでいました。



▲講師の嵐田康平さん



▲しかけ絵本ってこんな風につくるんだ(学友館にて)



▲写真左から浅利繁雄さん、高橋リツさん、藤原重雄さん

入館者170万人を達成 六郷温泉あったか山

平成6年3月にオープンし、町内外を問わず多くの人々に親しまれている「六郷温泉あったか山」の入館者が7月28日、170万人を達成しました。

記念すべき170万人目の入館者は横手市の藤原重雄さんで、佐々木副町長から記念品として美郷町特産品の詰め合わせなどの記念品が贈られました。

なお、169万9999人目は本町の高橋リツさん(下鶴田)、171万1人目の浅利繁雄さん(大仙市)で、同様に前後賞として記念品が贈られました。

一人一役でたくましさを身に付ける みさとジュニア・キャンプ

キャンプを通じて、子どもたちに共同作業の大切さを体験してほしいと、奉友会(戸澤勉会長)主催による「みさとジュニア・キャンプ」が8月1日、2日の両日にわたって、仏沢公園キャンプ場で行われました。

この日のキャンプには千屋小学校と千畑南小学校に通う27人の子どもたちと六郷高校の学生ボランティアの皆さんが参加。5つの班に分かれた子どもたちは、キャンプに必要な役割を一人一役で分担して行いました。夕食のカレーライス作りでは、まきと飯ごうでのご飯作りに挑戦したほか、キャンプ・ファイヤーやレクリエーションなどを通じて、学年や学校を越えた交流を深めました。



▲みんなで飯ごうを使ってご飯を炊きました。

来春の高校入試を視野に 町内中学校3年生学習交流

来春の高校入試を控えた町内の中学校3年生が一同に会した学習交流が8月1日、2日の両日にわたって、仙南公民館で行われました。

交流会では、秋田市内の学習塾の講師らによる講義が行われ、高校入試の出題傾向や学習のポイントなどが紹介されました。

また、各校の卒業生で、今春、高校に入学した先輩の皆さんによるパネルディスカッションが行われ、「中学校で学んだ知識は高校の勉強の基礎になる」といった受験勉強の体験談や高校生活の感想を紹介。参加した生徒の皆さんは、来春の高校入試と自分の希望する進路を見据え、真剣なまなざしで聞き入っていました。



▲先輩たちによるパネルディスカッション



▲発掘調査の記録をとる
森元さん(写真左)



図書の貸し出し▶
を行う内田さん
(写真左)

発掘調査や図書館の仕事を体験 インターンシップ実習生

高校2年生によるインターンシップ(就業体験)が7月下旬に行われ、町教育委員会では4人の高校生を受け入れました。

このうち本町の参加者として、大曲高校の森元さゆりさん(善元寺)が、大仙市仙北「払田柵跡」近くで発掘調査が行われている「城方小屋遺跡」の発掘調査を体験。また、六郷高校の内田奈央子さん(本道町)が、図書館と歴史民俗資料館が併設されている学友館で、図書の管理や貸し出し業務を体験しました。

参加した高校生の皆さんは「学んだことを活かして人のためになり、自分もやりがいのある仕事を見つきたい」「働くことの大変さや楽しさを学ぶことができた」とそれぞれ感想を話していました。

未来永劫の平和の実現を願う 美郷町戦没者慰霊祭

過去の大戦で命を落とされた方々を追悼するとともに未来永劫の平和を願う、美郷町戦没者慰霊祭(美郷町遺族会主催)が8月8日、ふれあいセンターで行われました。

式典では遺族をはじめ、松田町長、町議会議員ら約130人が参列。遺族会を代表して熊谷良夫会長が「戦争のない平和な世の中を未来永劫に実現することが私たちに課せられた責務」と式辞を述べました。

昨年からは町内3地区合同で行われている戦没者慰霊祭。ことしは千畑地区で長年行われてきた神事による式典が参列者の見守る中、厳かに行われました。



県内外の95人が健脚を競う 六郷温泉あったか山マラソン2007

ことしで10回目を迎えた六郷温泉あったか山マラソン2007(美郷町陸上競技協会主催)が8月12日、同温泉を発着点とするコースで行われ、県内外から参加した95人が、照りつける太陽の下、その健脚を競いました。

なお、町内参加者の成績は次のとおりです(敬称略)。

【中学生女子5km】
第2位 小林莉奈(仙南中)
第3位 照井麻耶(同)

東北大会出場を決める 千畑中学校吹奏楽部

全日本吹奏楽コンクール第49回秋田県大会が7月29日、秋田県民会館で行われ、千畑中学校吹奏楽部が中学校小編成の部で金賞を受賞し、9月に青森市で行われる東北大会出場を決めました。

8月20日には、部長の森元理沙さん、副部長の高橋真里子さん、顧問の藤沢和弘教諭が松田町長を訪れ、金賞受賞と東北大会出場を報告。部員を代表して森元さんが「初めての東北大会に今のメンバーで出場することができてうれしい。大会に向けて練習を重ねることになるが、常に新鮮な気持ちで演奏をしたい」と東北大会に向けての抱負を述べました。



▲写真左から松田町長、高橋真里子さん、森元理沙さん、藤沢和弘教諭